

平成21年4月30日

各 位

会 社 名 共同印刷株式会社
 代表者名 代表取締役社長 稲木歳明
 (コード番号 7914 東証第1部)
 問合せ先 専務取締役 谷 公明
 (TEL. 03-3817-2101)

業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成21年2月6日に公表しました平成21年3月期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）の業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
					円 銭
前回発表予想(A)	114,000	900	1,400	△ 400	△ 4.44
今回修正予想(B)	111,000	800	1,300	△ 1,400	△ 15.54
増減額(B-A)	△ 3,000	△ 100	△ 100	△ 1,000	—
増減率 (%)	△ 2.6	△ 11.1	△ 7.1	—	—
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	113,391	1,800	2,386	107	1.19

2. 平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
					円 銭
前回発表予想(A)	110,000	800	2,000	300	3.33
今回修正予想(B)	107,000	750	1,900	△ 2,600	△ 28.84
増減額(B-A)	△ 3,000	△ 50	△ 100	△ 2,900	—
増減率 (%)	△ 2.7	△ 6.3	△ 5.0	—	—
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	107,677	1,464	2,595	1,043	11.58

3. 修正の理由

(連結)

景気後退にともない、出版印刷、商業印刷などの需要が当第4四半期においてさらに減少しました。当社グループにおきましては新製品・新サービスの拡販や生産効率の向上によるコストダウンに努めましたが、受注競争激化による価格下落を補うに至らず、営業利益、経常利益ともに前回予想を下回る見通しとなりました。

また、当第4四半期において特別損失として、のれん減損損失864百万円、固定資産減損損失324百万円を計上することとなったため、当期純利益も前回予想を大きく下回る見通しとなりました。

(個別)

当第4四半期において特別損失として、関係会社株式評価損2,274百万円、投資損失引当金534百万円、固定資産減損損失324百万円等を計上することとなったため、当期純利益は前回予想を大きく下回る見通しとなりました。

4. 特別損失の計上

①連結子会社の業績悪化にともなう特別損失

当社の連結子会社である株式会社コスモグラフィックは、売上減少に伴い収益力が低下していることから、連結では、のれん減損損失として864百万円、個別では、関係会社株式評価損として2,274百万円を計上いたします。

②投資損失引当金

当社の関係会社に対する出資につきまして、各社の業績を勘案し、健全性の観点から投資損失引当金として534百万円を個別において計上いたします。

③固定資産減損損失

現在の事業環境及び今後の見通しを勘案し、当社生活資材部門の守谷工場、越谷工場の生産設備につきまして簿価を減額し、連結、個別とも324百万円を追加計上いたします。

5. 役員報酬の減額について

平成21年3月期後半からの業績悪化を踏まえ、以下のとおり役員報酬等の減額に着手しております。なお、監査役より監査役報酬の自主返上の申し入れがありましたので併せてお知らせいたします。

①役員報酬等減額の内容

取締役：月額報酬の10～15%を減額（平成21年2月～9月）

②監査役報酬の自主返上の内容

監査役：月額報酬の10%を返上（平成21年2月～9月）

なお、平成21年10月以降につきましては、今後の業績を見極めた上で判断いたします。

(注)

上記の業績予想につきましては、現時点における入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、今後の様々な要因により業績予想とは異なる結果となる可能性があります。

以 上